

「第25回大阪私立高等学校弓道記念大会」結果報告

前田が個人優勝！四冠達成で有終の美

しかし、団体戦は屈辱の大敗！全国私学大会の出場ならず…

10月4日(日)に大阪城弓道場において、「第25回大阪私立高等学校弓道記念大会」が行われました。この大会は昨年まで4月に行われていました。今年はこの時期に変更になったため、11月の新人戦にあわせて団体の編成も5人から3人に変更になりました。また、今まで9月の大阪総体が3年生が出場できる最後の大会でしたが、今回はこの私学大会が3年生にとって最後の大会となりました。



団体戦は2立24射の総的中で、個人戦は8射5中以上で予選通過、予選通過者での射詰競射で順位を決定します。本校からは、団体戦に男子2チーム、女子1チーム、個人戦に男子9名、女子3名が出場しました。3年前田は個人戦のみの出場とし、団体は2年・1年のみで挑みました。また、今まで推薦を受けたら出場できた全国私学大会に、今年からはこの大会の上位4校に全国私学大会への出場権が与えられることになりました。

大会がこの時期に移行したことで、いろいろな弊害が出てきました。当日学園祭という学校や、中間考査前で練習していないなど、各校十分な練習が出来ない状況での出場となったようです。本校も先週が学園祭、2日前に体育祭を終えたばかりで、まともな練習、調整が出来ませんでした。生徒は体育祭で張り切りすぎて筋肉痛を起こして「体のあちこちが痛い。」と泣き言が出る始末です。



まずは団体予選です。予想通り各校まったく的中が出ません。近年にない中の低さに「これはチャンスや」と思ったのもつかの間、本校はそれ以上に悲惨な結果となりました。ただ、毎回1立目が悪く、2立目に挽回するというパターンが続いていたので、2立目に期待しましたが、まったくいいところがなく、惨敗でした。ボクシングでいえば、ノーガードでボコボコに殴られ、無抵抗のままノックアウトされたような感じでした。そのため上位入賞どころか上位4校にも残れず、全国私学大会への出場も逃してしまいました。



学園祭、体育祭と続き思うような練習が出来ず、調子も悪かったので苦しむだろうなどは思っていました。正直ここまでとは思っていませんでした。本当にショックです。本当に悔しいです…

でも顧問が悔しがってもしょうがありません。生徒たちがどう感じているのか？自分たちに何が足りなかったのか、何が間違っていたのか、何が甘かったのか、しっかり考えて次につなげてほしいと思います。しかし、いつまでも落ち込んではいられません。“高い授業料を払った”と思って、この経験を生かして、11月の新人戦に向けて頑張りたいと思います。



決して この悔しさを忘れるな！

団体戦終了後、個人戦が行われました。男子は12名が予選を通過しました。本校からは個人戦のみに出場した前田が決勝に残りました。前田は、これまで大阪の個人タイトルをすべて獲得してきました。今回は“四冠”に挑戦することになります。しかし、他校の3年生と同様、前田も大学受験等でほとんど練習しておらず、前日の土曜日に練習しただけでした。大丈夫かなと心配しましたが、そこは前田です。予選2立でしっかり調整し、決勝の射詰競射ではきっちり仕上げてきました。ここが1、2年生との大きな違いです。射詰競射1本目、2本目、3本目と的中し、4本目には浪速高校の選手との一騎打ちとなりました。勝負の4本目、相手が外して、前田が見事的中して決着が付きまして。堂々の“四冠”達成です。おめでとう、前田。あとは進路決定だ！



成し遂げんとした志を ただ一回の敗北に
よって 捨ててはならぬ。